



2022年2月10日

各 位

本社所在地 東京都新宿区北新宿二丁目 21 番 1 号  
 会 社 名 RIZAP グループ株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 瀬 戸 健  
 コード番号 2928 札幌証券取引所アンビシャス  
 問 合 せ 先 取締役 鎌 谷 賢 之  
 電 話 番 号 03-5337-1337  
 U R L <https://www.rizapgroup.com/>

### 取締役人事に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり 2022 年 6 月 24 日付での取締役人事の内定について決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、この人事は、2022 年 6 月 24 日開催予定の定時株主総会およびその後の取締役会を経て正式に決定する予定です。

また、下記以外の取締役人事については、決定次第、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 新任取締役候補者の内容 (2022 年 6 月 24 日付)

氏名	新役職名	現役職名
車谷 暢昭 (くるまたに のぶあき)	取締役	経営顧問
寺門 峻佑 (てらかど しゅんすけ)	取締役 監査等委員	(TMI 総合法律事務所 パートナー・弁護士)

※車谷 暢昭氏および寺門 峻佑氏は、社外取締役候補者です。

※上記以外の取締役人事は、今後決定次第、お知らせいたします。

#### 2. 異動の理由

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大により不透明な経営状況が続く中、グループ機能統合プロジェクト「ONE RIZAP」の方針の下、新たな収益の柱としての EC 事業の成長、グループ横断的なコスト最適化などの経営合理化策を実行した結果、収益構造が大きく改善し、前期 (2021 年 3 月期) 決算においては 3 年ぶりの黒字化を達成し、今期 (2022 年 3 月期) は、第 1 四半期決算から第 3 四半期決算において、営業利益から最終利益までの全ての段階利益における黒字化を達成しております。

今後、当社グループは、これまでの経営改革の成果を踏まえ、来期以降における安定的な利益創出と持続的成長に向けた経営基盤の構築に注力する方針に転換いたします。

これに伴い、新任社外取締役には、三井住友銀行 副頭取、東芝 代表執行役社長 CEO などを歴任した車谷暢昭氏を招聘いたします。

車谷氏は、昨年7月より当社の経営顧問として、今期の黒字化や中長期戦略の策定においても大きな貢献を頂いております。今後も、金融と製造業で卓越した実績を持つ経営者である車谷氏には、当社の社外取締役として、当社グループの企業価値最大化に向け、財務基盤強化をはじめ、持続的成長を実現するグループ戦略の構築と実行における経営の監督、アドバイスを期待しています。

また、新任の監査等委員である社外取締役には、TMI 総合法律事務所パートナー弁護士の寺門峻佑氏を招聘いたします。寺門氏は、データ活用における法分野や企業のコンプライアンス体制に関して高い専門知識と経験を有しており、当社グループ全体のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進やコーポレートガバナンス強化などにおける法的な観点からの経営の監督、アドバイスを期待しています。

以 上

<ご参考：新任取締役候補 車谷 暢昭氏の略歴等>

- ・氏名：車谷 暢昭（くるまたに のぶあき）
- ・生年月日：1957年12月23日生（64才）
- ・略歴：

1980年3月	東京大学経済学部 卒業
1980年4月	(株)三井銀行(現(株)三井住友銀行) 入行
2007年4月	(株)三井住友銀行 執行役員
2010年1月	同社 常務執行役員
2012年4月	(株)三井住友フィナンシャルグループ常務執行役員
2012年6月	同社 取締役
2013年4月	(株)三井住友銀行 取締役 兼 専務執行役員
2015年4月	(株)三井住友銀行 取締役 兼 副頭取執行役員、 (株)三井住友フィナンシャルグループ 副社長執行役員
2017年5月	シーヴィーシー・アジア・パシフィック・ジャパン(株)会長兼共同代表 (2018年3月まで)
2018年4月	株式会社 東芝 代表執行役会長 CEO
2018年6月	同社 取締役、代表執行役会長 CEO
2020年4月	同社 取締役、代表執行役社長 CEO (2021年4月まで)
2021年7月	当社 経営顧問

(その他、現任の企業・団体等)

- ・ 株式会社マネーフォワード 取締役 (社外取締役)
- ・ 株式会社ファーストアドバイザーズ 代表取締役会長

・主な実績：

- ・ 1990年代後半以降、金融機関の不良債権処理に深く関わるとともに、成長戦略として黎明期のインターネット技術を捉え、日本初のインターネット専門金融モデルやコンビニバンキング事業を開発した。
- ・ 2001年の三井住友銀行誕生に際して合併室長を務め、合併後は、主に経営企画部門にて旧三井生命の再建支援、旧日興証券の買収、大型増資など多数の案件を手掛けた。
- ・ さらに、2011年の東日本大震災による東京電力対応では、メインバンクとして、政府・金融界と協議を重ね、被災者支援・電力安定供給に加え、社債市場維持と、東電再建を両立させる枠組みの取りまとめに尽力した。
- ・ 2018年、東芝より代表執行役会長兼CEO就任を要請され着任。東芝の経営改革に尽力し、総合電機モデルからインフラサービスやデータ事業を軸に成長を目指す東芝ネクストプランを立案・推進した。
- ・ 東芝では、これらの成長戦略に加え、調達改革等による固定費圧縮、負の遺産処理等による全社改革を推進し、就任2年で営業利益を354億円(2019年3月期)から約4倍の1,304億円(2020年3月期)に引き上げる等、収益性・財務基盤を安定させ、就任3年目には東京証券取引所第一部復帰を実現した。

<ご参考：新任取締役監査等委員候補 寺門 峻佑氏の略歴>

- ・氏名：寺門 峻佑（てらかど しゅんすけ）
- ・生年月日：1984年9月16日生（37才）
- ・略歴：2007年 3月 一橋大学法学部法律学科卒業  
2009年 3月 一橋大学法科大学院卒業  
2009年 11月 最高裁判所司法研修所入所  
2010年 12月 東京弁護士会登録  
2011年 1月 TMI 総合法律事務所勤務  
2017年 5月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）ロースクール卒業（LL.M.,  
Specialization in Media, Entertainment and Technology Law and Policy）  
2017年 8月 ロサンゼルスのカイン・エマニュエル・アークハート・サリバン法律事務所勤  
務  
2018年 1月 サンフランシスコのWikimedia Foundation, Inc. 勤務  
2018年 7月 エストニアのSORAINEN 法律事務所勤務  
2018年 8月 ニューヨーク州弁護士資格取得  
2018年 9月 TMI 総合法律事務所復帰  
2019年 7月 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC） サイバーセキュリティ関連法  
令の調査検討等を目的としたサブワーキンググループ タスクフォース構成  
員（～2020年3月）  
2019年 8月 経済産業省大臣官房臨時専門アドバイザー（～2021年3月）  
2019年 12月 TMI プライバシー&セキュリティコンサルティング株式会社取締役  
2020年 6月 滋賀大学データサイエンス学部インダストリアルアドバイザー  
2021年 1月 TMI 総合法律事務所 パートナー就任  
2021年 12月 株式会社インティメート・マージャー社外取締役